

## 第1 基本方針

本県の果樹は、主に海岸部から中山間地域の、必ずしも耕作条件に恵まれない傾斜地で栽培されているが、県の農業産出額の約1割を占める重要な作目となっている。しかし、外国産果実類との競争や若年層の果物消費離れに加え、長引く不況等による販売価格の低迷により、果実の販売環境は悪化している。

生産現場では、生産資材の高騰とともに農業従事者の高齢化や後継者の減少等の構造的な変化により、農家経営を取り巻く環境は厳しさを増し、栽培面積は漸減傾向にある。さらに、気候の温暖化により、夏秋期の高温をはじめ、干ばつ、長雨、集中豪雨等の気象変動が大きく現れ、永年作物である果樹はその影響を強く受けるようになっている。

このような情勢のもと、本県果樹農業を維持発展させるため、おいしさと個性をとことん追求した「稼げる果物づくり」のための試験研究に重点的に取り組み、熊本産果実のブランド力強化を実現し、県内果樹農家の経営向上に寄与する。

## 第2 重要研究事項

### 1 くまもとの魅力を発揮できる新品種の開発・選抜

本県の立地条件に適応し、食味重視の視点から消費者に満足してもらえる優良品種の育成・選抜を行う。

カンキツでは、温暖化に対応して、着色が早い極早生系統や浮き皮しにくい温州ミカンの育成・選抜と、年内及び4月出荷用の栽培性や果実品質の優れた特産的な中晩柑の育成・選抜を進める。

落葉果樹では、クリ、ナシ、ブドウ、カキ、モモについて、本県の気象条件等に適応した個性的な優良品種・系統の選抜を行う。

### 2 食味重視の消費者ニーズに対応した高品質・安定生産技術の開発

これまで開発したオリジナル品種について、その品種の持つおいしさと個性を十分発揮させるため、温州ミカンでは、「肥のあかり」「肥のあすか」および「肥のみらい」に対する結果母枝確保や摘果・着果法等を確立する。また、12月出荷用「熊本EC11」の早期成園化技術を確立する。

「不知火」系統では、ヒリュウ台「肥の豊」の加温栽培技術の開発と、施設栽培における高品質化技術の開発を行う。

落葉果樹では、ナシ「あきづき」「秋麗」、カキ「太秋」の高品質安定生産技術を確立する。

### 3 生産性の高い軽労働・省力化・低コスト・省エネ生産技術の開発

着果性の良いナシ品種の摘果軽減技術やカンキツの効果的な施肥管理技術を確立する。

また、病害虫の多発傾向に対して持続的安定生産のため、カンキツ、ナシ、クリ、カキにおける重要病害虫の効果的防除技術を確立する。

### 4 気象変動や気象災害に強い高品質果実の生産安定技術の開発

「不知火」「肥の豊」では、生育期から収穫後の予措・貯蔵中に発生するこはん症の発生要因を明らかにし、その軽減対策を確立する。ナシでは発芽不良や果肉障害の軽減技術を開発する。また、温暖化におけるカンキツの養分吸収の変化を明らかにし、それに応じた施肥体系を確立する。

### 5 持続的安定生産のための環境保全型生産技術の開発

化学合成農薬の散布回数の削減を図るため、天敵昆虫類に影響の少ない選択的農薬の活用法と耕種的防除技術などを組み合わせた総合的病害虫管理技術を開発する。また、難防除病害虫や新たに発生した病害虫の生態の解明や防除技術を開発するとともに、窒素負荷の少ない施肥技術や有機物施用技術を確立する。

### 第3 試験研究課題一覧

【果樹研究所】

部門	大課題	中課題	予算		小課題	試験期間	
			金額	区分			
常緑果樹	1. 多彩なくまもと農業の魅力発信できる新品種の開発・選定	(1) カンキツの優良品種育成	1,003	県単	① 交配によるオリジナル品種の育成	S49～継続	
		(2) カンキツの優良品種選抜	295	県単	① 適応性検定及び選抜 ② カンキツの生育状況・収量予測	S43～継続 S37～継続	
		(3) カンキツ育成系統特性調査	228	外部資金	① 第10回・11回系統適応性品種抵抗性検定	H26～H27	
	2. 稼げる農業を目指した革新的な生産技術の開発	<b>新規</b>	(1) 不知火類のこはん症発生軽減と高品質化による安定生産・出荷技術の確立	1,527	県単	① こはん症発生要因の解明 [常緑果樹研究室・天草農業研究所] ② こはん症発生軽減技術の確立 [常緑果樹研究室・天草農業研究所] ③ 施設栽培における高品質化技術の確立 [常緑果樹研究室]	H27～H28 H27～H29 H27～H29
			(2) 温州ミカンオリジナル品種の収益安定のための収量確保・高品質化技術の確立	1,502	県単	① 結果母枝確保技術および摘果法の改善 ② 着果および肥培管理法の改善 ③ 果皮障害軽減技術の開発	H26～H28 H26～H28 H26～H28
			(3) 見栄え抜群の新品種「みはや」の栽培確立で年内産カンキツを活性化	1,623	外部資金	① シートマルチ栽培に高糖度果実生産技術の開発 ② 外観向上による高品質果実生産技術の開発 ③ 生産現場における実証試験 [天草広域・農業普及・振興課]	H25～H27 H26～H27 H26～H27
			(4) 12月出荷用新系統温州ミカンの早期成園化と高品質果実の安定生産技術の確立	614	県単	① 早期成園化と着果安定技術の確立 ② 現地実証とマニュアル化	H25～H27 H26～H27
			(5) 不知火類（デコボン）における高品質果実の長期安定出荷体制の確立	797	県単	① ヒリュウ台「肥の豊」の栽培技術の確立 [常緑果樹研究室] ② 露地栽培における完熟果実安定生産技術の確立 [天草農業研究所]	H25～H27 H25～H27
			1. 多彩なくまもと農業の魅力発信できる新品種の開発・選定	(1) 落葉果樹の優良品種選抜	585	県単	① ナシ、モモ、クリ、ブドウ、カキ等の適応性検定及び選抜 ② 落葉果樹の生育状況及び栽培特性の把握
	2. 稼げる農業を目指した革新的な生産技術の開発	<b>新規</b>			(1) 落葉果樹のブランド戦略のための省力化および貯蔵技術の開発	1,301	県単
(2) カキ「太秋」の収益性向上技術の確立			805	県単	① 果皮障害軽減技術の開発 ② 収穫・出荷期間延長技術の開発	H24～H27 H24～H27	
(3) 樹体管理による「あきづき」の果肉障害発生抑制技術の開発と体系化			1,178	外部資金	① 摘果と樹体管理による軽減策の開発	H26～H30	

部門	大課題	中課題	予算		小課題	試験期間
			金額	区分		
病虫害学	2. 稼げる農業を目指した革新的な生産技術の開発	(1) カンキツオリジナル品種の気候温暖化に対応した肥培管理技術の確立	1,055	県単	① 「肥のあすか」における施肥法の改善 ② 「肥の豊」における施肥法の改善 ③ 主要産地のオリジナル品種における樹体栄養調査	H26～H30 H26～H30 H26～H30
	3. 環境にやさしい農業（くまもとグリーン農業）の推進を加速する技術の開発	(1) クリ腐敗果の発生要因の解明と防除対策の確立	877	県単	① 発生要因の解明 ② 防除技術の確立	H26～H28 H26～H28
		<b>新規</b> (2) 落葉果樹の難防除害虫に対する効果的な防除技術の開発	642	県単	① カキ「太秋」におけるチョウ目害虫の減農薬防除体系の確立 <b>新規</b> ② ニセナシサビダニに対する効率的な防除体系の確立	H25～H27  H27
		(3) 果樹病害虫発生予察事業	農業技術課	令達	① 発生消長調査 ② 農薬に対する抵抗性検定	S46～継続 S40～継続
		(4) クリ害虫クリシギゾウムシに対する効果的な防除技術の開発	3,205	外部資金	① 被害多発地域におけるクリシギゾウムシの発生消長の解明 ② 被害多発地域におけるIPM防除体系の開発	H25～H27 H25～H27

注) **新規**：本年度から新たに取り組む課題

**組替**：課題設定時の内容を組み替えて設定する課題

**延長**：課題設定時の完了予定年度を延長して設定する課題

**短縮**：課題設定時の完了予定年度を短縮して設定する課題